

「気象庁 緊急地震速報の技術的な改善」の対応について

平素より緊急地震速報受信機 HomeSeismo（ホームサイスマ）をご愛顧賜り、誠にありがとうございます。
「気象庁 緊急地震速報の技術的な改善」の対応についてお知らせ致します。

気象庁では緊急地震速報の技術的改善として、2018年3月下旬から、緊急地震速報の新たな手法を導入する予定です。

これにより、現在の緊急地震速報電文の仕様変更及び新規電文の配信が開始されます。

新たな手法では、緊急地震速報の予測精度が向上します。

ホームサイスマは、仕様変更される緊急地震速報（警報・予報）、及び新規で配信が開始されるリアルタイム震度電文に対応し、従来法+PLUM法によるハイブリッド対応を行う予定です。

用語説明

従来法（IPF法等）	震源・マグニチュードから各地の震度を予想
PLUM法	周辺の観測点で観測されたリアルタイム震度から、当該地点の震度を予想
ハイブリッド対応 （従来法+PLUM法）	従来法及びPLUM法、両者の震度予想を反映して緊急地震速報を発表する

HomeSeismo 対応（予定）

		ハイブリッド による発報
新形式電文（仕様変更）	緊急地震速報（警報） （従来法+PLUM法）	○
	緊急地震速報（予報） （従来法）	○
リアルタイム震度電文（新規配信）	緊急地震速報（予報） （PLUM法）	

サービス提供要件、費用等については、準備が整い次第別途ご案内させていただきます。

「気象庁 緊急地震速報の技術的な改善」詳細

- 新しい予想手法の導入に伴う気象庁からの電文配信の概要

http://www.data.jma.go.jp/svd/ew/data/nc/shiryo/setsumeikai170712/170712_3a.pdf

- PLUM法の概要

http://www.data.jma.go.jp/svd/ew/data/nc/shiryo/setsumeikai170712/170712_7.pdf

よくあるご質問

Q. 受信機（ホームサイスモ）を買い換える必要があるのか？ 追加費用は絶対にかかるのか？

A. 受信機はそのままお使いいただけます。

追加費用の有無・詳細につきましては未確定のため準備が整い次第別途ご案内いたします。

Q. すべての緊急地震速報サービスが PLUM 法（ハイブリッド）に対応することになるのか？

A. 現在の仕組みと比較して、緊急地震速報電文の仕様変更及び新規電文の配信が開始されるため、予報業務許可事業者・配信事業者（※1）の対応が不可欠です。

よって、事業者ごとに対応が分かれることが想定されます（※2）

ホームサイスモは警報及び予報の発報について、従来法+PLUM 法によるハイブリッド対応を行う予定です。

※1 ホームサイスモは、予報業務許可事業者・配信事業者共に株式会社エイツーです。

※2 対応例

		ハイブリッド（従来法+PLUM 法）による発報		
		①全対応 （ホームサイスモ）	②ハイブリッド対応 した警報での発報に 対応	③電文の仕様変更 に対応（ハイブリッドに よる発報はしない）
新形式電文（仕様変更）	緊急地震速報（警報） （従来法+PLUM 法）	○	○	× （警報発報はしない）
	緊急地震速報（予報） （従来法）	○	×	×
リアルタイム震度電文 （新規配信）	緊急地震速報（予報） （PLUM 法）	（従来法+PLUM 法）	（従来法での発報のみ）	（従来法での発報のみ）

以上